

2023 年度 日本計量生物学会年会

主催：日本計量生物学会

後援：応用統計学会

2023 年 4 月 20 日（木），21 日（金）

会場：北海道大学 学術交流会館講堂

〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 西 5:

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/access/>

会場および Zoom によるハイブリッド開催

- | | | |
|-------------|-------------|--------------------------------------|
| 4 月 20 日（木） | 8:45~8:55 | 開会の挨拶 |
| | 8:55~9:40 | 一般講演『観察データ・データベースの解析』 |
| | 9:40~11:10 | 一般講演『臨床試験・臨床研究(1)』 |
| | 11:20~12:50 | 一般講演『因果推論・予測解析』 |
| | 13:00~13:40 | ポスターセッション（ホワイエ） |
| | 13:50~14:50 | 日本計量生物学会総会・学会賞授与式 |
| | 14:50~16:50 | 特別セッション
『オミクスデータ解析：その活用方法・新たな広がり』 |
| | 17:00~18:00 | 特別講演（2022 年度学会賞受賞者講演） |
| 4 月 21 日（金） | 9:00~10:00 | 一般講演『臨床試験・臨床研究(2)』 |
| | 10:00~11:00 | 一般講演『モデリング』 |
| | 11:10~12:40 | 一般講演『疫学』 |
| | 12:40~12:50 | 若手優秀発表賞表彰 |

年会参加費：正会員 2,000 円，応用統計学会員 2,000 円，非会員 4,000 円，
学生（正会員，非会員とも）1,000 円

2023 年度

日本計量生物学会年会プログラム

4月20日(木) 8:45~18:00 (開場 8:20), 21日(金) 9:00~12:50 (開場 8:45)

会場: 北海道大学 学術交流会館講堂

会場およびZoomによるハイブリッド開催

主催: 日本計量生物学会

後援: 応用統計学会

年会参加費: 正会員 2,000円, 応用統計学会員 2,000円, 非会員 4,000円,
学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

チュートリアルセミナー

主催: 日本計量生物学会, 応用統計学会

日時: 4月21日(金) 14:00~17:00 (開場 13:30)

会場: 北海道大学 学術交流会館講堂 (会場およびZoomによるハイブリッド開催)

テーマ: 統計的因果推論の基本と応用

オーガナイザー: 田栗 正隆 (東京医科大学)

講師: 高橋 将宜 (長崎大学情報データ科学部)

参加費: 正会員 2,000円, 非会員 4,000円, 学生(正会員, 非会員とも) 1,000円

日本計量生物学会年会

4月20日(木)

8:20 開場・Zoom入室開始

8:45~8:55 開会の挨拶 日本計量生物学会長 服部 聡

8:55~9:40 一般講演『観察データ・データベースの解析』 座長 未定

修正 Poisson 回帰における適合度検定: 1 を超える当てはめ値の影響

萩原 康博, 松山 裕 (東京大学)

がん死亡を補正した生命表に基づくがん登録データ解析

小向 翔, 服部 聡 (大阪大学),

Bernard Rchet (London School of Hygiene and Tropical Medicine)

Dirichlet 過程混合モデルを用いたクラスタリングによる既存データ利用法の提案

大東 智洋, 丸尾 和司 (筑波大学), 寒水 孝司 (東京理科大学), 五所 正彦 (筑波大学)

9:40~11:10 一般講演『臨床試験・臨床研究(1)』 座長 未定

Test-then-pool 法と傾向スコア重み付け法を組み合わせた既存試験データを併合するための二段階アプローチ

岡田 和史, 横田 勲 (北海道大学)

能動的レベル集合推定に基づく抗がん剤第Ⅰ相臨床試験における最大耐用量の推定

瀬野 圭一朗, 松井 孝太 (名古屋大学), 松井 茂之 (名古屋大学/統計数理研究所)

Conditional estimation of hazard ratios from confirmatory clinical trials testing multiple survival endpoints in a fixed sequence procedure

和泉 翔喜 (東京大学/国立精神・神経医療研究センター), 野村 尚吾 (東京大学)

再生医療等製品の探索的試験における Double Boundary Design の提案

横山 涼, 上村 鋼平, 小出 大介 (東京大学)

Comparing Bayesian methods for combining multiple historical controls in clinical trials

Eric Yanchenko (North Carolina State University),

Hwanhee Hong, Lisa Wruck (Duke University),

Aparna Swaminathan, Scott Palmer (Duke Clinical Research Institute)

A Bayesian dose-finding design for the optimal doses under a mislabel model in phase I/II clinical trials

Shiqi Zhao, 三枝 祐輔, 山本 紘司 (横浜市立大学)

11:10~11:20 休憩

11:20~12:50 一般講演『因果推論・予測解析』 座長 未定

治療群の平均因果効果に対する傾向スコア層別推定量の改善

鈴木 翔子 (横浜市立大学), 折原 隼一郎, 田栗 正隆 (東京医科大学)

治療開始を起点とした周辺構造 Cox モデルの正確かつ構造モデルの誤特定に頑健な推定法の提案

瀬谷 のどか, 田栗 正隆 (東京医科大学), 石井 健夫 (横浜市立大学/善仁会横浜第一病院)

生存時間アウトカム予測におけるペアワイズ層別 Cox 回帰モデルの定式化を利用した overall C の信頼区間構成法のシミュレーション研究

近持 卓, 篠崎 智大 (東京理科大学), 松山 裕 (東京大学)

子宮体がんのリンパ節転移の予測確率に対する閾値の設定方法

佐野 和幸 (LINE/東京理科大学), 土田 潤 (同志社大学), 寒水 孝司 (東京理科大学)

二値経時曝露の Critical Windows 推定における Distributed Lag Model の推定性能の検討

白土 航大, 大庭 幸治, 松山 裕 (東京大学)

全血データに対する複数組織を考慮した Latent Dirichlet Allocation の適用について

柚木 慎太郎 (同志社大学), 寺田 吉彦 (大阪大学), 松井 佑介 (名古屋大学),
宿久 洋 (同志社大学)

12:50~13:50 ポスターセッション (ホワイエ)/休憩

[P1] Calculation of environmental water demand and supply at agricultural stations in Taiwan

Ko-Ya Lee, Hungyen Chen (National Taiwan University)

[P2] 指数分布に従うアウトカムを持つ3群比較試験の評価指標について

稲葉 洋介 (千葉大学), 川崎 洋平 (日本赤十字看護大学)

13:50~14:50 日本計量生物学会総会・学会賞授与式

14:50~16:50 特別セッション: オミクスデータ解析: その活用方法・新たな広がり

オーガナイザー: 櫻井 玄 (農業・食品産業技術総合研究機構)

座長: 櫻井 玄 (農業・食品産業技術総合研究機構), 田栗 正隆 (東京医科大学)

- 質量分析による植物メタボロミクスデータの情報解析と共有
福島 敦史 (京都府立大学)
- 統計学と機械学習による植物の表現型予測
小野木 章雄 (龍谷大学)
- マルチオミクス解析から農業デジタルツイン開発へ
市橋 泰範 (理化学研究所)
- オミクス情報解析から紐解く腸内環境の個人差と新型コロナウイルスリスク
永田 尚義 (東京医科大学)

16:50~17:00 休憩

17:00~18:00 特別講演 (2022 年度学会賞受賞者講演)

座長 服部 聡 (大阪大学)

『Contemplation, Commitment, and Contribution』

森田 智視 (京都大学)

4月21日 (金)

8:45 開場・Zoom入室開始

9:00~10:00 一般講演『臨床試験・臨床研究(2)』 座長 未定

繰り返しイベントに関する回数別発生確率に対するノンパラメトリック推定量の統計的効率
横田 勲 (北海道大学)

2値型応答の経時反復測定データに対する解析対象集団全体を反映した平均処置効果の推定法
馬場 崇充, 山田 桃香, 今村 拓未, 渡辺 秀章, 長谷川 貴大 (塩野義製薬)

軸調整が非線形混合効果モデルのパラメータ推定に与える影響の検討

清水 陽介 (国立国際医療研究センター・東京医科歯科大学),
佐藤 宏征, 平川 晃弘 (東京医科歯科大学)

質性治療効果に対する調整型因果ルールアンサンブル法

平石 麻友 (和歌山県立医科大学/同志社大学), 万 可 (和歌山県立医科大学),
谷岡 健資, 宿久 洋 (同志社大学), 下川 敏雄 (和歌山県立医科大学)

10:00~11:00 一般講演『モデリング』 座長 未定

生存時間データにおける Meta-learner の検討
下川 敏雄 (和歌山県立医科大学)

予後因子の影響を調整した生存時間因果ルールアンサンブル法の開発
万 可, 下川 敏雄 (和歌山県立医科大学)

治癒割合の推定に必要な試験期間の設定方法の検討
揖斐 裕実子, 大森 崇 (京都大学)

フォローアップ期間の違いを考慮した有害事象のメタアナリシス
川口 純加 (和歌山県立医科大学), 服部 聡 (大阪大学)

11:00~11:10 休憩

11:10~12:40 一般講演『疫学』 座長 未定
Can we estimate a risk without observing the relevant number of cases?
丹後 俊郎 (医学統計学研究センター)

階層的順序アウトカムに対する順序ロジットモデルと罰則つき最尤法
原田 和治 (東京医科大学), 川野 秀一 (九州大学), 田栗 正隆 (東京医科大学)

Estimating immunity with mathematical models for SARS-CoV-2 after COVID-19 vaccination
長島 健悟, 上菘 義典 (慶應義塾大学), 村田 満 (慶應義塾大学/国際医療福祉大学),
長谷川 直樹, 佐藤 泰憲 (慶應義塾大学)

複数のアウトカムに興味がある状況での未観測交絡因子への対処法の検討
折原 隼一郎 (東京医科大学)

深層学習における説明変数の寄与度の評価 -乳癌関連遺伝子の病的意義不明の変異に対する機能予測結果への応用-
鈴木 明日香, 武内 一真 (帝京大学), 浦崎 航 (東京理科大学), 砂田 成章 (順天堂大学),
三木 義男 (筑波大学), 松浦 正明 (帝京大学)

Low-dose radiation risk assessment considering individual susceptibility to cancer by radiation exposure by the random threshold model
柳川 堯 (久留米大学), 福永 久典 (北海道大学)

12:40~12:50 若手優秀発表賞表彰

12:50 閉会

※一般講演における各演題時間は15分(発表時間12分, 質疑応答3分)とする。



○ JRをご利用の場合
JR「札幌駅」下車、徒歩7分

○ 地下鉄をご利用の場合
市営交通・地下鉄南北線
「さっぽろ駅」下車、徒歩8分
「北12条駅」下車、徒歩7分

※当施設には駐車場がございません。最寄りの公共交通機関のご利用をお願いいたします。

2階

